スピーカーシステム

D-509C

Ja

ONKYO

取扱説明書

スピーカーシステムの表面塗装について
ピアノ塗装仕上げタイプのスピーカシステムは表面保護のため、ピアノクリーナーを塗布しております。そのため、開封時、表面がくすんで見える場合があります。その際は湿った布などで一度全体をふき取り、その後乾いた布でおふき取りください。
ご注意：布は傷付き防止のため、柔らかいものをご使用ください。

安全上のご注意

安全にお使いいただくため、ご使用の前に必ずお読みください。

電気製品は、誤った使いかたをすると大変危険です。
あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、「安全上のご注意」を必ずお守りください。

「警告」と「注意」の見かた

間違った使いかたをしたときに生じることが想定される危険度や損害の程度によって、「警告」と「注意」に区分して説明しています。

警告	誤った使いかたをすると、火災・感電などにより死亡、または重傷を負う可能性が想定される内容です。
注意	誤った使いかたをすると、けがをしたり周辺の家財に損害を与える可能性が想定される内容です。

絵表示の見かた

△ 記号は「ご注意ください」という内容を表しています。

高温注意

感電注意

⃠ 記号は「～してはいけない」という禁止の内容を表しています。

分解禁止

ぬれ手禁止

● 記号は「必ずしてください」という強制内容を表しています。

電源プラグをコンセントから抜く

必ずする

⚠ 警告

故障したまま使用しない、異常が起きたらすぐにアンプの電源プラグを抜く

電源プラグをコンセントから抜く

- 煙が出ている、変なにおいや音がする
- 本機を落としてしまった
- 本機内部に水や金属が入ってしまった

このような異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐにアンプの電源プラグをコンセントから抜いて販売店に修理・点検を依頼してください。

分解、改造しない

分解禁止

火災・感電の原因となります。
内部の点検・整備・修理は販売店に依頼してください。

接続、設置に関するご注意

■水蒸気や水のかかる所に置かない、本機の上に液体の入った容器を置かない

水場での使用禁止

水濡れ禁止

本機に水滴や液体が入った場合、火災・感電の原因となります。

- 風呂場など湿度の高い場所では使用しない
- 調理台や加湿器のそばには置かない
- 雨や雪などがかかるところで使用しない
- 本機の上に花びん、コップ、化粧品、ろうそくなどを置かない

使用上のご注意

■本機内部に金属、燃えやすいものなど異物を入れない

禁止

火災・感電の原因となります。特に小さなお子様のいるご家庭ではご注意ください。

■長時間音がひずんだ状態で使わない

禁止

アンプ、スピーカーなどが発熱し、火災の原因となることがあります。

■長時間大きな音で使用しない

禁止

本機をご使用になる時は、音量を上げすぎないようにご注意ください。耳を刺激するような大音量で長期間続けて使用すると、聴力が大きく損なわれる恐れがあります。

⚠ 注意

接続、設置に関するご注意

■不安定な場所や振動する場所には設置しない

禁止

強度の足りないぐらついた台や振動する場所に置かないでください。本機が落下したり倒れたりして、けがの原因となることがあります。

■配線コードに気をつける

注意

配線された位置によっては、つまずいたり引っかかったりして、落下や転倒など事故の原因となることがあります。

使用上のご注意

■音量を上げすぎない

禁止

- 突然大きな音が出てスピーカーを破損したり、聴力障害などの原因となることがあります。
- 始めから音量を上げ過ぎると、突然大きな音が出て耳を傷めることがあります。音量は少しずつ上げてご使用ください。

■キャッシュカード、フロッピーディスクなど、磁気を利用した製品を近づけない

禁止

- 磁気の影響でキャッシュカードやフロッピーディスクが使えなくなったりデータが消失することがあります。

移動時のご注意

■移動時は接続コードをはずす

必ずする

コードが傷つき火災や感電の原因になります。

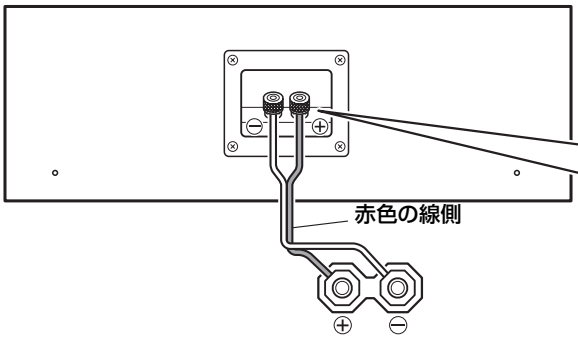
■本機の上にものを乗せたまま移動しない

禁止

本機の上に他の機器を乗せたまま移動しないでください。
落下や転倒してけがの原因になります。グリルネットやスピーカーユニット部を持って移動させないでください。

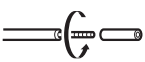
接続のしかた

- 本機とアンプを接続するときは、アンプのボリュームは出力最小にし、電源プラグを抜いた状態で行ってください。
- 本機の定格インピーダンスは4Ωです。接続するアンプは4Ωに対応したものをご使用ください。



AVアンプのセンタースピーカー端子

1.ビニールカバーをはずしスピーカーコードのしん線部をよじる

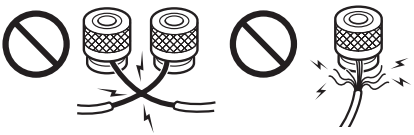


2.ネジをゆるめ、穴にコードのしん線部を確実に差し込む

3.矢印の方向へ回し、コードを締め付ける

危険

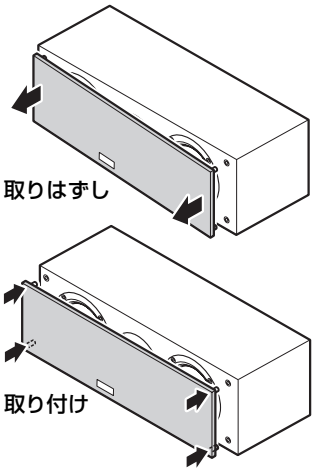
- **回路の故障を防ぐため、スピーカーコードのしん線のプラス（+）とマイナス（−）あるいはLとRなどを絶対に接触させないでください。また、アンプのリアパネルにも触れないように、ご注意ください。**
- **スピーカーコードは、しっかりとよじってください。銅線がアンプのリアパネルに触れると、ショートする原因となります。**



使いかた

■グリルネットの脱着

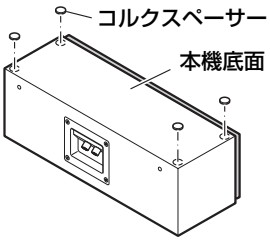
前面のグリルネットを取りはずすことができます。グリルネットを取り付けたり、はずしたりするときは次のように行ってください。



■付属のコルクスペーサーを取り付ける

安定した設置と、よりよい音でお楽しみいただくため、また可塑剤の移行*を防止するためにも、付属のコルクスペーサーを必ずお使いください。コルクスペーサーは、図のように本機底面の四隅に貼り付けてください。

*「可塑剤の移行」については「設置する際のご注意」をご覧ください。

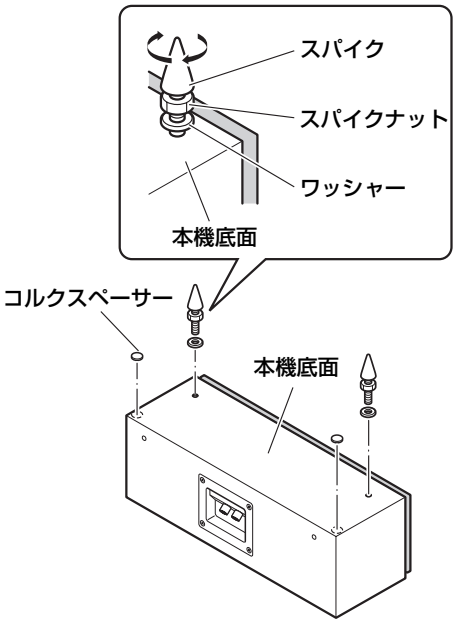


■付属のスパイクの使いかた

付属のスパイクを使って、本機を上向きに角度をつけて設置することができます。

1. 底面のスパイク取り付けねじ穴部（2箇所）に、ナイロンワッシャー、スパイクナット、スパイクの順で取り付けます。
2. 2箇所のスパイクが同じ程度とび出すようにお好みの高さに調整し、ガタツキの無いように微調整してください。
3. スパイクナットを締め付けて固定します。

• 設置の際は、付属のスパイク受け皿のご使用をおすすめします。詳しくは、「設置について」をご覧ください。



ご注意

スパイクが出た状態でスピーカーを移動すると、床が傷つきますので、充分に注意してください。また、スパイクの取り扱い時は、先端などでケガをしないように注意してください。

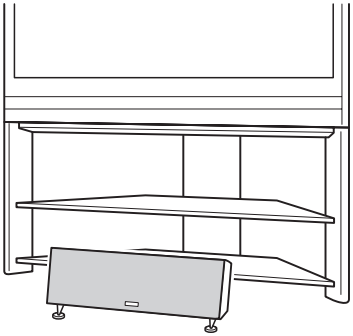
設置について

センタースピーカーはテレビまたはプロジェクター用スクリーンになるべく近い位置、たとえばテレビの下または前、スクリーンの下などに置くのが一般的です。

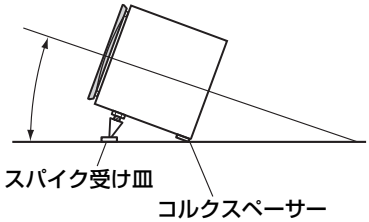
■低い位置に置く場合

テレビの下やスクリーンの下に設置した場合、床と平行方向になるため、床の反射が大きかったり高域の減衰が激しくなります。それを防ぐため付属のスパイクなどを使って、ウーファー、ツィーターがリスナーの方を向くように設置してください。

スパイクをお使いになるときは、「付属のスパイクの使いかた」をよくお読みください。



- 硬い床などに設置する場合、傷防止のため付属のスパイク受け皿を設置することをおすすめします。
- 後方の接地面には付属のコルクスペーサーをご使用ください。
- スパイクナットをきちんと締めていないと、再生時の振動によって異音が発生する場合がありますので、しっかりと締めて付けてください。



お好みの角度になるようスパイクの締めつけ量を調節し、スパイクナットで固定してください。

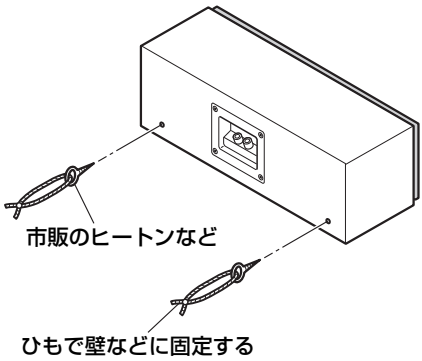
ご注意

- **ブラウン管テレビには対応していません。**
- 本スピーカーには磁石が使われています。ブラウン管テレビ、時計、キャッシュカード、フロッピーディスクなど、磁気の影響を受けるものを近くに置かないでください。

■高い位置に置く場合

高い位置に置く場合は、スピーカーが落ちたりすると危険ですので、設置に際しては十分気をつけてください。特にお子さまのおられるご家庭などでは気をつけてください。

また落下防止のためキャビネット背面に設けてある左右2カ所の穴に太さ4mm、長さ15mm程度のヒートンなどを使って丈夫なひもを取り付け、壁などに固定してください。



ご注意

壁はその材質、桟などの位置により、ネジの保持強度に大きな差が出ますので取り付けに際しては、十分ご注意ください。（専門業者にご相談ください。）

取り扱いについて

■設置する際のご注意

本機を設置する場合には付属のコルクスペーサーまたはスパイクを必ず使用し、塗装部分が、可塑剤*を含む製品に直接接触しないようにご注意ください。本機の表面を被っている塗装皮膜は、可塑剤を含む製品に長時間接触していると、色移りしたり色落ちすることがあります。
これを「可塑剤の移行」と言い、可塑剤を含む製品に長時間接触することで、その製品に含まれている可塑剤が本機の塗装膜を軟化させることによって生じる現象です。
滑り止めシートやソファーなどは、製品によって可塑剤が含まれている場合があります。本機に接触することで色が移ったり、本機の色が落ちたりするトラブルが起こった場合は保証の対象とはなりません。

* 可塑剤とは、ある材料に柔軟性を与えたり、加工しやすくするために添加する物質のことで、主に、塩化ビニール（塩ビ、PVCと言われることもあります。）を中心としたプラスチック製品に用いられます。可塑剤は次のような製品に使用されている場合があります。
  - 合成皮革（ソファー、椅子、テーブルクロス、衣類など）
  - 滑り止めシート
  - 建材（壁紙、床材、天井材など）
  - 電線被覆（家電製品のコード、ケーブル類）
  - フィルム・シート（雑誌や書籍の表装、機器などに使用しているカバーなど）
  - 塗料・接着剤・顔料（ダンボール箱や家具などの合板用）

■お手入れについて

製品の表面は時々柔らかい布でからぶきしてください。汚れがひどいときは、中性洗剤をうすめた液に、柔らかい布を浸し、固く絞って汚れをふき取ったあと乾いた布で仕上げをしてください。固い布や、シンナー、アルコールなど揮発性のものは、ご使用にならないでください。化学ぞうきんなどをお使いになる場合は、それに添付の注意書きなどをお読みください。
ピアノ塗装仕上げの場合は、市販されているピアノクリーナー（鏡面ツヤ出し用）をご使用ください。塗装面に付いた手アカや汚れをすっきり取り、美しい光沢に仕上げます。お手入れ後は、ホコリや手アカが付きにくくなり、付着しても乾拭きで楽に取ることができます。
スピーカーのグリルネットにほこりがついたときは、掃除機で吸い取るか ブラシをかけるとよくほこりを取ることができます。

■テレビやパソコンとの近接使用について

一般にテレビやパソコンに使用されているブラウン管は、地磁気の影響さえ受けるほどデリケートなので、普通のスピーカーを近づけて使用すると、画面に色むらやひずみが発生します。**本機は防磁設計ではありません。**ブラウン管テレビを本機の近くでご使用になると、色むらやひずみが生じる場合があります。そのときは、本機をテレビから離してください。

■取り扱い上のご注意

本機は通常の音楽再生では問題ありませんが、次のような特殊な信号が加えられますと、過大電流による焼損断線事故のおそれがありますのでご注意ください。

① FMチューナーが正しく受信していないときのノイズ
② 発振器や電子楽器等の高い周波数成分の音
③ オーディオチェック用CDなどの特殊な信号音
④ マイク使用時のハウリング
⑤ テープレコーダーを早送りしたときの音
⑥ アンプが発振しているとき
⑦ ピンコードなど、接続端子の抜き差し時のショック音

主な仕様

形式：2ウェイ 密閉型
定格インピーダンス：4Ω
最大入力：150W
定格感度レベル：86.5dB/W/m
定格周波数範囲：65Hz～100kHz
クロスオーバー周波数：2.9kHz
キャビネット内容積：8.0リットル
外形寸法（幅×高さ×奥行）：
500×164×176mm
（グリルネット、ターミナル突起部含む）
質量：5.9kg
使用スピーカー：
ウーファー（13cm N-OMFコーン型×2）
ツイーター（3cm リング型×1）
ターミナル：
バナナプラグ対応金メッキ真鍮削り出しスピーカーターミナル
防磁設計：無
付属品：
コルクスペーサー（4個）、スパイク（2個）、スパイクナット（2個）、ナイロンワッシャー（2個）、スパイク受皿（2個）、スピーカーコード 3.0m（1本）、保証書（1）、ユーザー登録カード（1）

※仕様および外観は予告なく変更することがあります。

カタログおよび包装箱などに表示されている型名の最後のアルファベットは製品の色を表す記号です。色は異なっても操作方法や仕様は同じです。

修理について

■保証書

この製品には保証書を別途添付していますので、お買い上げの際にお受け取りください。
所定事項の記入および記載内容をご確認いただき、大切に保管してください。
保証期間は、お買い上げ日より１年間です。

■調子が悪いときは

意外な操作ミスが故障と思われています。
この取扱説明書をもう一度よくお読みいただき、お調べください。本機以外の原因も考えられます。ご使用の他のオーディオ製品もあわせてお調べください。それでもなお異常のあるときは、電源プラグを抜いて修理を依頼してください。

修理を依頼されるときは、下の事項をお買い上げの販売店、または本書「オンキヨーご相談窓口・修理窓口のご案内」記載のオンキヨー修理窓口までお知らせください。

- ▶ お名前
- ▶ お電話番号
- ▶ ご住所
- ▶ 製品名　D-509C
- ▶ できるだけ詳しい故障状況

■オンキヨー修理窓口について

詳細は本書「オンキヨーご相談窓口・修理窓口のご案内」をご覧ください。

■保証期間中の修理は

万一、故障や異常が生じたときは、商品と保証書をご持参ご提示のうえ、お買い上げの販売店またはオンキヨー修理窓口へご相談ください。
詳細は保証書をご覧ください。

■保証期間経過後の修理は

お買い上げ店、またはオンキヨー修理窓口へご相談ください。修理によって機能が維持できる場合はお客様のご要望により有料修理致します。

■補修用性能部品の保有期間について

本機の補修用性能部品は、製造打ち切り後８年間保有しています。性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。保有期間経過後でも、故障箇所によっては修理可能の場合がありますのでお買い上げ店、またはオンキヨー修理窓口へご相談ください。

ONKYO

オンキヨー　ご相談窓口・修理窓口のご案内

※販売店の長期保証制度にご加入いただいた製品の保証期間内の修理は、お買い求めの販売店へご依頼いただくようお願いします。

■「送付」による修理をご希望の場合は

下記のオーディオリペアセンターへご送付ください。

〒682-0925　鳥取県倉吉市秋喜243番地
オンキヨー　鳥取オーディオリペアセンター　修理受付窓口宛　　050-3161-9555
（詳しくは）http://www.jp.onkyo.com/support/servicebase.htm
（ONKYOホームページの「サポート」→「オーディオ製品のサポート」→「修理のお手続き」で閲覧可能）

■ お近くの修理拠点へ「持込み」をご希望の場合は

下記のURLにて全国の修理拠点のご案内がございます。お持込みの際には営業日を確認のうえでご訪問いただくようお願いします。

（詳しくは）http://www.jp.onkyo.com/support/servicebase.htm
（ONKYOホームページの「サポート」→「オーディオ製品のサポート」→「修理のお手続き」で閲覧可能）

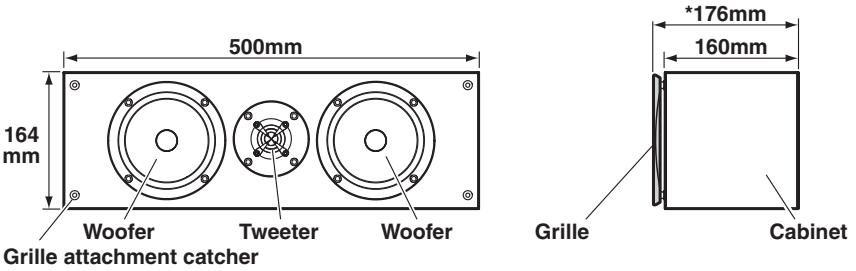
■「出張修理」をご希望の場合、その他ご不明な点は

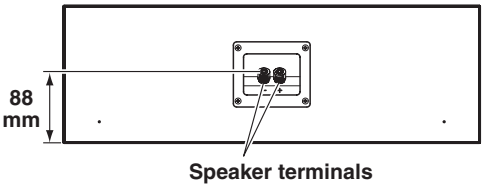
下記のオンキヨー オーディオコールセンターへご相談ください。

オーディオコールセンター　050-3161-9555（IP電話）
（受付時間：10:00～18:00　土・日・祝日及び弊社で定める休業日を除きます）

※出張修理の際は、修理費用以外に出張費用が別途かかります。また、地域によっては、出張修理のできないエリアがございます。あらかじめご了承ください。

2012年1月現在　　住所、電話番号、受付時間などは変更になることがございます。





* グリルネット、ターミナル突起部含む
記載の寸法は、実際の製品と若干の誤差が生じる場合があります。

* **incl. grille and projection**
The actual dimensions may differ slightly from this drawing.

Speaker System

D-509C

En

ONKYO

Instruction Manual

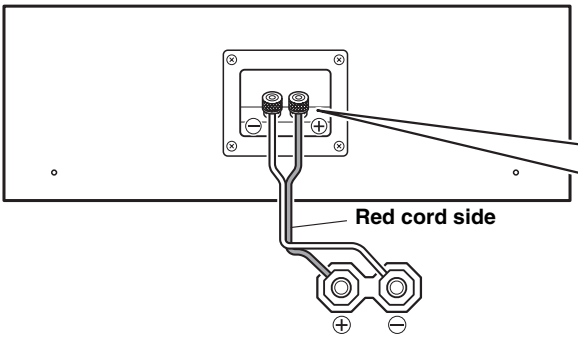
Surface Coating

For mirror-smooth finish type, the surface color may look dull because a piano cleaner is applied to protect the surface. Please wipe the surface with a cloth dampened with water and then wipe it with a dry cloth.

Note: Use a soft cloth to avoid the scratch.

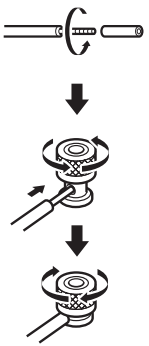
Connecting the Speakers

- Before connecting the speakers, disconnect your amplifier's power cord from the wall outlet and set its volume control to minimum.
- The speaker's rated impedance is 4 Ω. Make sure you connect an amplifier that is compatible with a 4 Ω impedance.



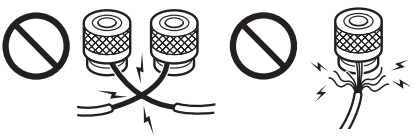
Center speaker terminals of the amplifier

1. Peel the insulation off the ends of the speaker cable and twist the core wires.
2. Loosen the terminal screw and insert the speaker cable into the hole until the core wires are inserted fully.
3. Fasten the terminal screw in the direction of an arrow.



Caution

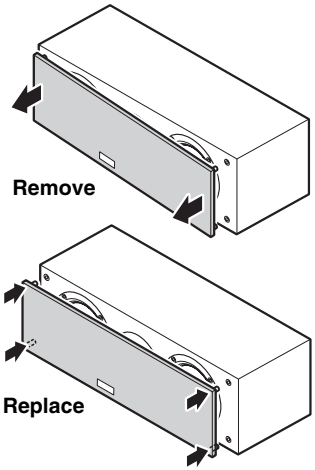
- **Make sure that the positive (+) and negative (-) wires or R and L wires are not touching each other and also not touching the rear panel of the amplifier to avoid the circuit damage.**
- **Make sure to twist the core wire properly to prevent it from touching the rear panel of the amplifier and causing the short.**



Before Using the Speaker System

■ Removing the Speaker Grilles

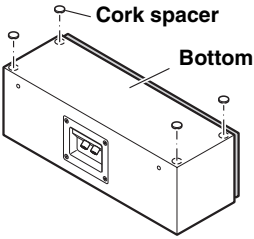
You can use the speakers either with or without their grilles, which can be removed as follows.



■ Using the Supplied Cork Spacers

Make sure to use the supplied cork spacers for stable bases and better-quality sound. The cork spacers also protect the bottom of the speaker from migrations of a plasticizer.

Attach the cork spacers to the four corners of the bottom of the speaker.

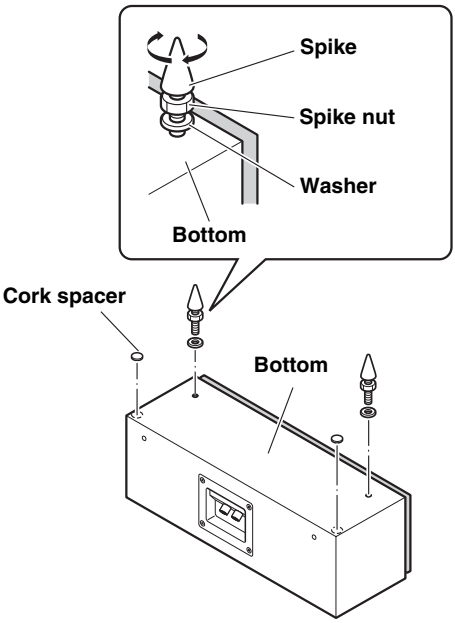


■ Using the Supplied Spike

The speaker can be placed with upward angle by using the supplied spikes.

1. Attach a nylon washer, spike nut, and spike in that order into the screw holes (two) on the bottom of the speaker.
2. Adjust the height of the spikes to the same level and make them stable.
3. Tighten the spike nuts firmly.

• We recommend the use of supplied spike tray. Refer to “Placement” for details.



Note

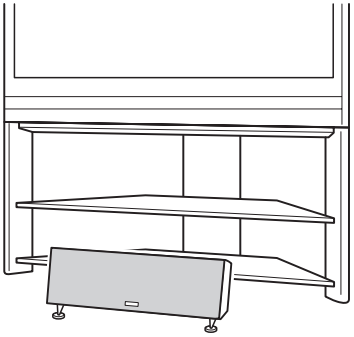
Please note that moving the speaker with the spikes attached can damage the flooring. Make sure not to get injured with a tip of the spike when you attach it.

Placement

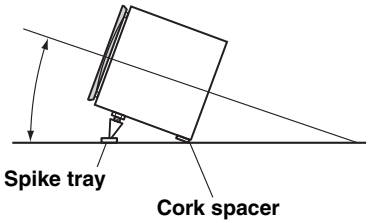
Place the speaker as close as possible to your television set or projection screen, for example, below/in front of the television set or below the projection screen.

■ Placement in lower location

When you place the speaker under a television set or a projection screen, the speaker is parallel to the floor, and a reflection becomes bigger or a high pitch sound decays severely. In order to prevent it, place the woofer and tweeter at an angle facing the listener by using supplied spikes.
Refer to “Using the Supplied Spike” for the use of the spikes.



- When you place the speaker on the firm floor, we recommend the use of supplied spike trays to protect the flooring from damage.
- For rear contact points, use supplied cork spacers.
- Fasten the spike nut firmly to avoid the abnormal noise.



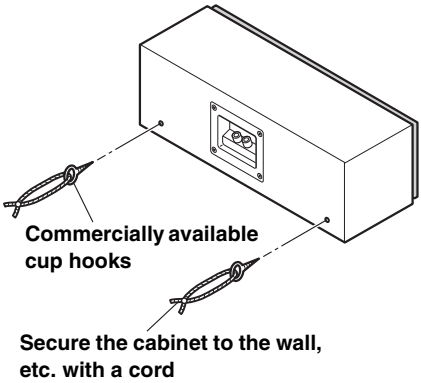
Adjust the amount of torque of the spike nut for the desired angle of the speaker.

Note

- **This speaker is not compatible with television sets with Braun tubes.**
- Magnets are used for this speaker. Please move the speaker apart from the magnetizing objects such as television sets with Braun tubes, watches, cash cards, and floppy discs.

■ Placement in higher location

When you place the speaker in higher location, make sure to set it firmly so that it cannot slip and fall. This is especially important if you have small children.
To prevent the cabinet from falling, you can secure the cabinet to the wall, etc. by using durable cords with cup hooks: Find holes on the back of the speaker, and screw into each hole the cup hook of about 4 mm in diameter and 15 mm long, and then secure the speaker to the wall , etc. with the cord.



Note

A mounting screw’s ability to support a speaker depends on the material and the position of studs of the wall. (We recommend a consultation with professionals.)

Care

■ Care for the Surface

You should periodically wipe the speakers with a soft, dry cloth. For stubborn stains, remove it by using a soft cloth dampened with water and a mild detergent, then wipe it dry with a dry cloth. Do not use a rough cloth, thinners, alcohol, or other volatile solvents. When you use wipes, please refer to a note of caution supplied with the wipes. For mirror-smooth finish type, use a commercially available piano cleaner (a polish for smooth finish). The cleaner remove the hand marks and stains, and give a luster to the surface. The cleaner also prevents the hand marks and stains, and make it easier to remove them with a dry cloth. You can dust the grille net of the speaker by using a vacuum cleaner or blush.

■ Use with a TV set

In general, Braun tubes used for color television sets, etc. are extremely sensitive and can be affected even by the magnetism of the earth. If a speaker system is used near them, therefore, discoloring or distortion of pictures will occur.

This speaker is not provided with magnetic shielding. If discoloration or distortion occurs, move the speaker apart from the television set.

■ Precaution on use

This speaker system can handle the specified input power when it is used for ordinary music reproduction. If the following abnormal signals are fed to the speaker, however, an overcurrent may flow in the internal circuits, causing burning or breakage of the wires.

① Noise produced when FM station is not tuned in
② High-frequency sound generated by an oscillator, an electronic musical instruments, etc.
③ Special test signals produced by audio checking CD, etc.
④ Howling when a microphone is used
⑤ Sound produced when fast-forwarding cassette tape deck
⑥ Oscillating amplifier signals
⑦ Sound produced when connecting or disconnecting audio connection cables

Specifications

Type: 2-way Closed Box
Impedance: 4 Ω
Maximum input power: 150 W
Output sound pressure level: 86.5 dB/W/m
Frequency response: 65 Hz - 100 kHz
Crossover frequency: 2.9 kHz
Cabinet capacity: 8.0 ℓ
Dimensions (W × H × D):
500 × 164 × 176 mm (incl. grille and projection)
Weight: 5.9 kg
Speaker (woofer): 13 cm N-OMF cone × 2
Speaker (tweeter): 3 cm ring drive × 1
Terminal: Binding post (Banana type supported)
Other: Non-magnetic shielding
Accessories:
Cork spacer (4), Spike (2), Spike nut (2), Nylon washer (2), Spike tray (2), Speaker cable 3.0 m (1)

Specifications and features are subject to change without notice.

In catalogs and on packaging, the letter at the end of the product name indicates the color. Specifications and operations are the same regardless of color.

扬声器系统

Cs

ONKYO

D-509C

使用手册

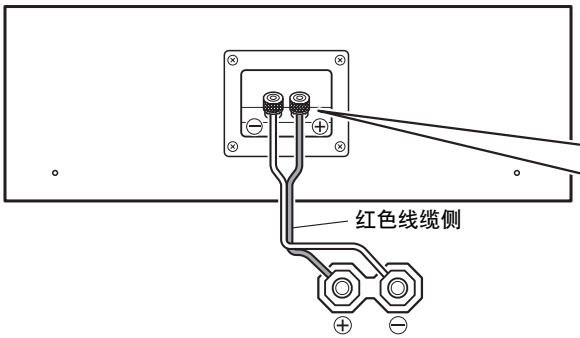
表面涂层

对于镜面抛光型，由于涂有用于保护表面的钢琴清洁剂，表面颜色可能显得暗淡。请用蘸水的布擦拭表面，然后再用干布擦干。

注意：请使用软布以免划破表面。

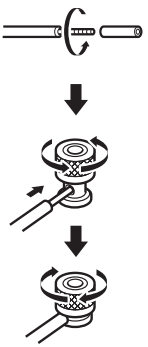
连接扬声器

- 连接扬声器前，请从电源插座上拔下放大器的电源线并将其音量控制调至最小。
- 扬声器的额定阻抗为4 Ω. 确保连接兼容 4 Ω 阻抗的放大器。



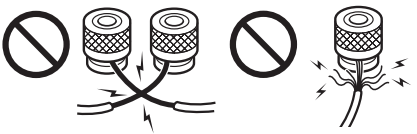
放大器的中置扬声器端子

1. 将扬声器连线末端的绝缘层剥开并扭紧芯线。
2. 松开端子螺杆并将扬声器连线插入孔中，直至芯线完全插入。
3. 按照箭头方向拧紧端子螺杆。



注意

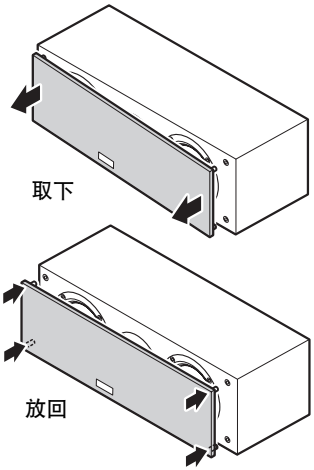
- 确保正 （+）和负极 （-）线缆或 R 和 L 线缆不相互接触，并且不接触放大器的后面板，以避免电路损坏。
- 确保正确扭紧芯线，以防止其接触放大器的后面板而造成短路。



使用扬声器系统之前

■取下扬声器网罩

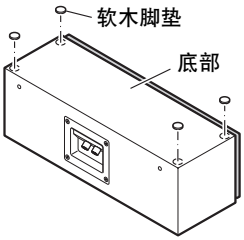
扬声器有无网罩均可使用，可通过以下方式取下网罩。



■使用附带的软木脚垫

请务必使用附带的软木脚垫以确保底座稳定，获得品质较好的声音。此外，软木脚垫还可保护扬声器底部，防止增塑剂渗移。

将软木脚垫安装到扬声器底部的四个边角。

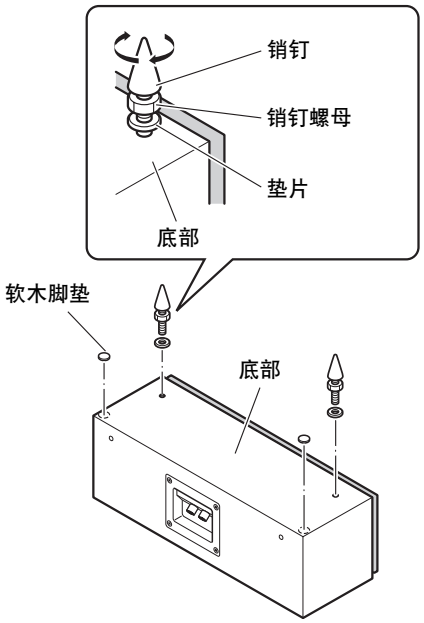


■使用附带的销钉

可使用附带的销钉以向上的角度安置扬声器。

1. 在扬声器底部的螺孔 （两处）内依次安装尼龙垫片、销钉螺母和销钉。
2. 将销钉高度调整到同一水平，使它们保持稳定。
3. 拧紧销钉螺母。

• 建议使用附带的销钉托盘。详细信息请参见“放置”。



注意

请注意，在装有销钉的状态下移动扬声器会损坏地板。安装销钉时，确保不要受到销钉尖端的伤害。

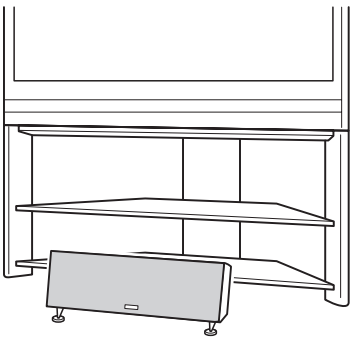
放置

将扬声器放置在尽可能靠近电视机或投影屏幕的位置，例如，电视机下方/前方或投影屏幕下方。

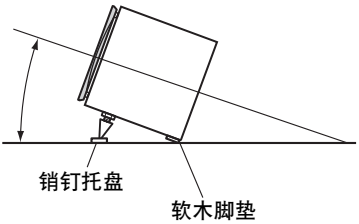
■在低处放置

将扬声器放在电视机或投影屏幕下方时，扬声器与地板平行，反射会变大或高音调声音衰减严重。为防止这种情况，请使用附带的销钉将低音单元和高音单元放置在朝向听众的角度。

关于销钉的使用方式，请参阅 “使用附带的销钉”。



- 将扬声器放在坚实的地板上时，建议使用附带的销钉托盘以免损坏地板。
- 对于后触点，请使用附带的软木脚垫。
- 拧紧销钉螺母以免产生异常噪音。



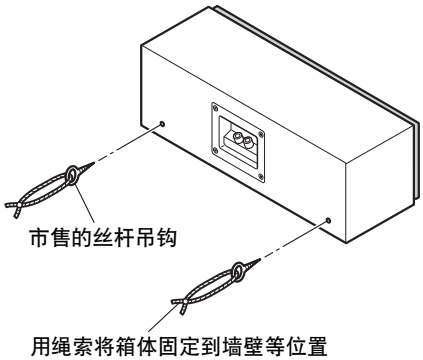
调整销钉螺母的转矩量以获得所需的扬声器角度。

注意

- **本扬声器与显像管电视机不兼容。**
- 本扬声器采用磁铁。请移动扬声器的位置，使其远离磁化物体，例如显像管电视机、手表、现金卡和软盘。

■在高处放置

在高处放置扬声器时，请确保牢固安放以防止其滑动或跌落。如果您有小孩，这一点尤为重要。为防止箱体跌落，可以使用带丝杆吊钩的耐用绳索将箱体固定到墙壁等位置。找到扬声器背面的孔，在每个孔内旋入直径约4 mm，长约15 mm的丝杆吊钩，然后用绳索将扬声器固定到墙壁等位置。



注意

安装螺钉对扬声器的支撑能力取决于墙壁的材质和龙骨的位置。（建议咨询专业人员。）

保养

■表面保养

应定期使用干燥的软布擦拭扬声器。对于顽固的污渍，可使用蘸水和温和清洁剂的软布除去污渍，然后再用干燥的布擦干。请勿使用粗糙的布、稀释剂、酒精或其他挥发性溶剂。使用擦拭巾时，请参阅擦拭巾随附的注意事项。对于镜面抛光型，请使用市售的钢琴清洁剂（用于增加光泽度的上光剂）。该清洁剂可以除去手印和污渍，并可增加表面光泽。此外,该清洁剂还可防止手印和污渍，而且可以使手印和污渍更容易用干布清除。可使用吸尘器或毛刷清除网罩上的灰尘。

■与电视机搭配使用

用于彩色电视机等设备的阴极射线管通常极为灵敏，甚至会受地球磁场的影响。因此，如果在此类设备附近使用扬声器，会发生图像变色或变形。**本扬声器不具备磁屏蔽功能。**如果发生变色或变形，请移动扬声器，使其远离电视机。

■使用注意事项

用于普通的音乐再现时，本扬声器系统可处理规定的输入功率。但是，如果对扬声器供给下列异常信号，内部电路中可能流入过载电流，造成线缆燃烧或损毁。

① FM电台未调谐时产生的噪声
② 振荡器、电子乐器等产生的高频声音
③ 音响测试CD等产生的特殊测试信号
④ 使用麦克风时产生的啸声
⑤ 磁带式录音机快进时产生的声音
⑥ 振荡放大器信号
⑦ 连接或断开音频连接线时产生的声音

规格

类型： 2路密闭式音箱
阻抗： 4 Ω
最大输入功率： 150 W
输出声压级别： 86.5 dB/W/m
频率响应： 65 Hz - 100 kHz
交叉频率： 2.9 kHz
音响柜体积： 8.0 ℓ
尺寸（宽 × 高 × 长）：
500 × 164 × 176 mm（包括网罩和突出部位）
重量： 5.9 kg
扬声器（低音单元）： 13 cm N-OMF圆锥形 × 2
扬声器（高音单元）： 3 cm环形驱动 × 1
端子： 接线柱（支持香蕉形插头）
其他： 无磁屏蔽
附件：
软木脚垫（4）、销钉（2）、销钉螺母（2）、尼龙垫片（2）、销钉托盘（2）、3.0 m扬声器电缆（1）

规格及功能更改将不另行通知。

目录和包装上产品名称后面的字母代表了颜色的资讯。无论何种颜色，规格和操作方式都是相同的。

产品上标有左侧的标记时，表示含有有毒有害物质的含量超出SJ/T11363-2006规定的限量要求的部件，环境保护使用期限为10年。但是，遥控器中使用的电池等消耗品除外。有关含有的部位请参阅下表。根据产品机体上贴有的序号能够了解制造年份。序号的开头的数字表示制造年份。
例如，“12 SERIAL********”表示2012年制造。

有毒有害物质或元素名称及含量标识格式

部件名称	有毒有害物质或元素					
	Pb	Hg	Cd	Cr(VI)	PBB	PBDE
	铅	汞	镉	六价铬	多溴联苯	多溴二苯醚
扬声器产品						
外部装饰方面	×	○	○	○	○	○
安装电路板	○	○	○	○	○	○
附属品	×	○	○	○	○	○
包装品	○	○	○	○	○	○

○：表示该有毒有害物质在该部件所有均质材料中的含量均在 SJ/T 11363-2006 规定的限量要求以下。
×：表示该有毒有害物质至少在该部件的某一均质材料中的含量超出 SJ/T 11363-2006 规定的限量要求。

（×表示部分扬声器产品的外部装饰方面和附属品内的端子、销钉的铅含量超出 1000ppm。）

Onkyo Corporation
2-1, Nisshin-cho, Neyagawa-shi, OSAKA 572-8540, JAPAN
Tel: 072-831-8023 Fax: 072-831-8163
http://www.onkyo.com/

Onkyo U.S.A. Corporation
18 Park Way, Upper Saddle River, N.J. 07458, U.S.A.
Tel: 800-229-1687, 201-785-2600 Fax: 201-785-2650
http://www.us.onkyo.com/

Onkyo Europe Electronics GmbH
Liegnitzerstrasse 6, 82194 Groebenzell, GERMANY
Tel: +49-8142-4401-0 Fax: +49-8142-4208-213
http://www.eu.onkyo.com/

Onkyo Europe Electronics GmbH (UK Branch)
The Coach House 81A High Street, Marlow, Buckinghamshire, SL7 1AB, UK
Tel: +44-(0)1628-473-350 Fax: +44-(0)1628-401-700

Onkyo China Limited
Unit 1033, 10/F, Star House, No 3, Salisbury Road, Tsim Sha Tsui Kowloon, Hong Kong.
Tel: 852-2429-3118 Fax: 852-2428-9039
http://www.onkyochina.com/

Onkyo China PRC
1301, 555 Tower, No.555 West NanJin Road, Jin an, Shanghai,
China 200041, Tel: 86-21-52131366 Fax: 86-21-52130396
http://www.cn.onkyo.com/

ONKYO

安桥(上海)商贸有限公司
上海市静安区南京西路555号555大厦1301室

电话:86-21-52131366 传真:86-21-52130396
http://www.cn.onkyo.com/

ONKYO

オンキヨー株式会社
〒572-8540 大阪府寝屋川市日新町2-1

製品のご使用方法についてのお問い合わせ先：
オンキヨーオーディオコールセンター
☎050-3161-9555（受付時間 10：00～18：00）
（土·日·祝日·弊社の定める休業日を除きます）
サービスとサポートのご案内：http://www.jp.onkyo.com/support/

Y1208-1

SN 29401187

(C) Copyright 2012 Onkyo Corporation Japan. All rights reserved.

* 2 9 4 0 1 1 8 7 *